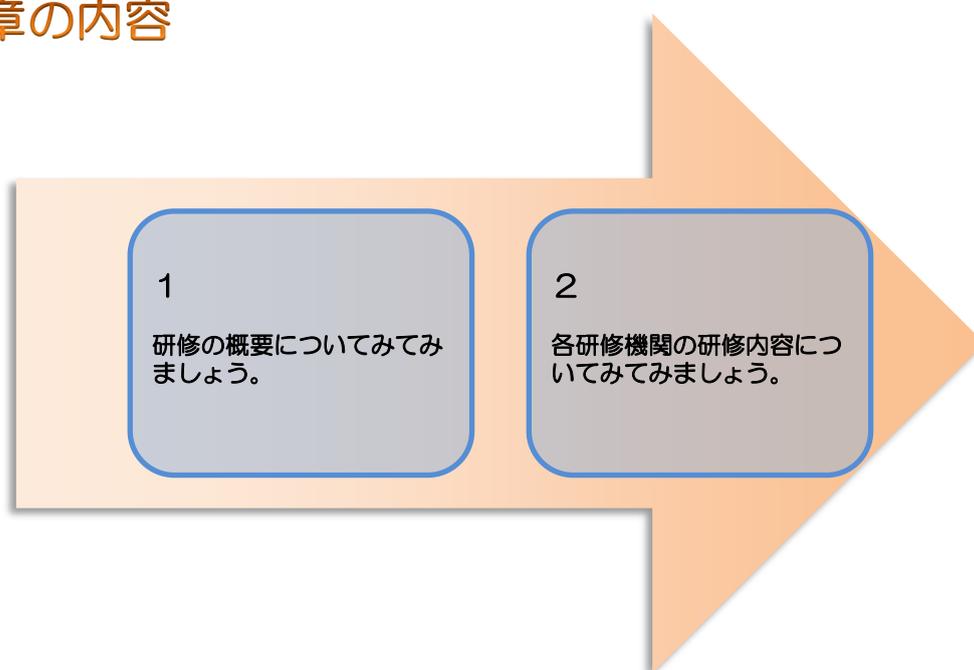


第四章 各種研修の実施時期と問い合わせ先

本章の内容



本章の概要

障害福祉サービス等従事者への研修はさまざまところで行われています。実際に福祉に従事されている方は看護職員、生活支援員、作業療法士、保育士、管理栄養士など多岐に及んでいます。そして、経験年数などの関係で初任者、中堅職員、チームリーダー、管理者など対象にした研修もあります。

研修を行うにあたっては年間計画を立てて階層別の研修やコミュニケーションや接遇といった特定のテーマに関する研修を行う事業所（法人）もあるでしょう。

第四章では、実際に行われている研修の内容や実施時期、研修を依頼したい時の問い合わせ先などをお伝えします。

*研修によっては申込期間が定められていたり、申し込み多数のため、受講できない場合もあります。申し込み方法や受講条件、申し込み多数の場合の選考方法等も研修によって異なりますので、研修を希望される場合は、必ず、研修機関に事前にお問い合わせ下さい。

1 研修の概要について

社会福祉協議会をはじめさまざまな団体が研修を行なっています。この章では、研修を以下の4種類に分類し、紹介していきます（図4-1）。

階層別研修	<ul style="list-style-type: none">・新社会人から管理者までその段階に応じて必要なスキルを学ぶために必要な研修です。 <p>初任者研修 中堅職員研修 チームリーダー研修 管理者研修</p>
専門研修	<ul style="list-style-type: none">・専門職（看護師、栄養士など）の技術的な知識を必要とする研修を学ぶための研修です。
課題別研修	<ul style="list-style-type: none">・職場全体で必要となる、接遇やコミュニケーション等、目的のある課題を学ぶための研修です。
資格取得に向けた研修	<ul style="list-style-type: none">・キャリアプラン上必要となる資格の取得に向けた研修です。

【図4-1 研修の種類】

2 各研修機関による研修の紹介

ここでは、各研修機関が行っている研修をご紹介します。なお、平成26年度の研修実績を掲載しているため、現在の研修メニューと異なっている場合もあります。

また、研修によっては、受講対象者が限定されていたり、定員が設定されているものもありますので、最新の情報については、各研修機関へお問い合わせください。

(1) 全国社会福祉協議会（中央福祉学院）

研修機関名	全国社会福祉協議会（中央福祉学院）
所在地	神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560 番地 44 号
電話番号	046-858-1355
FAX番号	046-858-1356
<p>中央福祉学院は、平成 7 年に社会福祉研修の全国段階の拠点施設として、社会福祉法人全国社会福祉協議会が設立した施設です。社会福祉を担う人材の育成と従事者の専門性を高めるための研修を推進しています。</p> <p>※下記の研修は平成 27 年実施予定のものですが、募集時期が未定のものもあります。</p>	

■通信課程

研修名	目的	開催月	
社会福祉士通信課程 (短期養成コース)	社会福祉士国家試験受験資格取得	4月～ (10か月間)	資格取得に 向けた研修
社会福祉主事資格認定通信 課程(民間・春期コース)	社会福祉主事任用資格取得	4月～ (1年間)	資格取得に 向けた研修
社会福祉施設長資格認定 講習課程	社会福祉施設長資格認定	4月～ (1年間)	資格取得に 向けた研修
福祉施設長専門講座	社会福祉施設長として必要な社会福祉施設の経営およびサービス管理や公益的取組等について学ぶ。	4月～ (1年間)	階層別研修
社会福祉主事資格認定通信 課程(民間・秋期コース)	社会福祉主事任用資格取得	10月～ (1年間)	資格取得に 向けた研修
社会福祉協議会・社会福祉施設会計実務講座 通信課程	社会福祉法人会計基準に基づく会計実務の知識・技術の習得	8月～ (6か月間)	課題別研修

■短期研修課程等

研修名	目的	開催月	
社会福祉法人経営者研修会 ①経営管理コース ②人事管理コース ③サービス管理コース	社会福祉法人の経営者として必要な法人・施設運営に関する専門知識及び技術を習得する	①11月 ②5月 ③10月	階層別研修
スーパービジョン研修会 コースⅠ 対人援助職の成長をめ ざすスーパービジョン	社会福祉施設等の対人援助の実践リーダーを対象に、受講者自らの実践を振り返るとともにスーパーバイザーに求められる知識・技術・態度を学ぶ。	8月	階層別研修
コースⅡ 組織としての対応力 向上をめざすスー パービジョン	社会福祉施設等の管理職員(施設長、部・課長等)、指導的職員(主任・係長等)を対象に組織として取り組むスーパービジョンの意義や方法について学ぶ。	1月	階層別研修
職場研修担当者研修会 施設職員コース	『福祉の「職場研修」担当者養成コース』の内容理解および職場研修担当者としての技能の向上を図る。	6月、2月 (2回開催予定)	課題別研修

(2) 福岡県社会福祉協議会

研修機関名	福岡県社会福祉協議会 研修課
所在地	福岡県春日市原町3丁目1番7号 クローバープラザ東棟4階
電話番号	092-584-3401
FAX番号	092-584-3402
<p>福岡県社会福祉協議会（都道府県社協）は、県域での地域福祉の充実をめざした活動を行っています。福祉サービスに関する苦情・相談を受け付け、中立の立場から助言、あっせんなどを行うことによって問題の解決を図るために「運営適正化委員会」を設置し、サービス事業者の適正な事業運営と、サービス利用者の支援に向けた取り組みを進めています。さらに、福祉サービスの質の向上を図ることを通じて、サービスを利用する方々の安心と満足を実現するため「福祉サービスの第三者評価事業」にも積極的に取り組んでいます。福祉関係者に対して、専門的な研修事業を実施しています。</p>	

■階層別研修

新任職員から管理職まで、それぞれの立場に求められる役割を理解し、必要な能力を身に付けるための研修を実施します。

研修名	開催月	目的と内容	対象者
新任職員研修	5月	社会人として仕事を円滑に進めていくために求められる基本的知識と技術を学ぶ。	社会福祉施設・事業所の職員 (経験年数の目安：2年未満)
基礎研修	7月	中堅職員に必要な知識や技術、利用者と援助者との関係形成に必要なコミュニケーションの基本的考え方や実践のための技術について学ぶ。	社会福祉施設・事業所の職員 (経験年数の目安： 2年以上5年未満の 勤務経験を有する職員)
業務目標の設定・管理・達成研修	11月	目標を達成させるための計画立案や管理方法等について学ぶ。	社会福祉施設・事業所の職員 (経験年数の目安： 2年以上10年未満の 勤務経験を有する職員)
チームリーダーキャリアアップ研修課程	10月	チームリーダー等の役割を遂行するための基本を習得するとともに、チームリーダーとしてのキャリアデザイン・セルフマネジメントのあり方を学ぶ。	近い将来チームリーダー等の役割を担うことが想定される中堅職員、主任・係長等に就いている職員
職場内指導者養成研修	6月	職員を指導するにあたり必要な知識（部下指導の必要性、職場の現状分析、OJTの定義・展開の手順、OJT計画表の作成方法）などを学ぶ。	社会福祉施設・事業所の職員 (経験年数の目安： 5年以上10年未満の 勤務経験を有する職員で、 指導する立場にある職員)
ストレスマネジメント研修	11月	働きやすい職場づくりのために必要なメンタルケアに関する知識や技術について学ぶ。	社会福祉施設・事業所の職員 (経験年数の目安： 5年以上10年未満の 勤務経験を有する職員で、 指導する立場にある職員)
リスクマネジメント研修	10～12月	中間管理職に必要なリスクマネジメントの基本について学ぶ。	社会福祉施設・事業所の職員 (経験年数の目安： 10年以上の勤務経験を 有する職員)

コーチング研修	10～11月	中間管理職が、円滑な業務を遂行するためのコーチングの基本について学ぶ。	社会福祉施設・事業所の職員 (経験年数の目安： 10年以上の勤務経験を有する職員で、現にOJTを実践している職員)	階層別研修
管理者キャリアアップ研修課程	9月	管理職員としての役割を遂行するための基本を習得するとともに、管理職員としてのキャリアデザインと職場環境整備のあり方を学ぶ。	近い将来管理者の役割を担うことが想定される指導的立場の職員、管理者等に就いている職員	階層別研修
労務管理研修	8月	職員定着のために良好な職場環境の整備・確保に必要な知識について学ぶ。	社会福祉施設・事業所の理事長及び法人運営に携わる役職員等	階層別研修
社会福祉法人監事研修	2月	監事監査を行ううえで必要な知識やチェックポイント等について学ぶ。	社会福祉法人の監事	階層別研修

■専門研修、課題別研修

施設種別等により現場に求められる実践的な専門研修や、職種に応じて求められる専門技術を身に付けるための課題別研修を実施します。

※ 下記の表は、専門研修、課題別研修のうち、障害者・児施設職員対象の研修を抜粋しています。

研修名	開催月	目的と内容	対象者	
障害児者施設・事業所職員研修	1月	障害児者施設・事業所職員の職務遂行に必要な専門的知識を学ぶ。	障害児者福祉施設・事業所の職員	専門研修
処遇記録研修 <障害者分野>	2月	施設利用者の処遇を記録する際の専門的知識・技術を学ぶ。	障害者福祉施設・事業所の職員	課題別研修
会計担当者研修 <初任者向け>	7月	新会計基準の基本的な理解と会計処理に必要な知識と技術を学ぶ。	社会福祉施設の会計担当職員 (初任者)	課題別研修
会計担当者研修 <実践者向け>	8月	新会計基準の理解を深めるとともに、財務管理のポイント等について学ぶ。	社会福祉施設の会計担当職員 (実践者)、管理者等	課題別研修
ビジネス文書研修	8月	文書の意義や特性、種類、文書処理の方法等、職務遂行に必要な書き方、伝え方等を学ぶ。	社会福祉施設・事業所の職員	課題別研修
広報担当者研修	10月	施設における広報活動を強化していくために必要な知識と技術を学ぶ。	社会福祉施設・事業所の広報担当者	課題別研修
感染症予防研修	夏期： 6月 冬期： 11月	夏期における細菌性・ウィルス性食中毒、冬期におけるノロウィルス、インフルエンザ等の感染症の予防対策等を学ぶ。	社会福祉施設・事業所の役職員	課題別研修

(3) 北九州市社会福祉研修所

研修機関名	社会福祉法人北九州市福祉事業団 北九州市社会福祉研修所
所在地	北九州市戸畑区汐井町1番6号 ウェルとばた8階
電話番号	093-873-7655
FAX番号	093-873-7656
<p>北九州市社会福祉研修所は、社会福祉施設等や介護サービスの従事者を対象にして、時代の要請と福祉職場の研修ニーズに応えるため、市や関係機関、施設等と緊密な連携を図っています。また、社会福祉の基本理念や心豊かな人間性を養うとともに、社会福祉施設従事者等に求められる専門性や組織性を高める研修、社会の変化に対応できる福祉人材の育成と自主的な研究活動に対する支援等に積極的に取り組んでいきます。</p> <p>※下記の研修は平成27年実施予定のもの抜粋ですが、募集時期が未定のものもあり、開催月は、平成26年度のもの参考としています。</p>	

■平成27年度 北九州市社会福祉研修所「社会福祉施設従事者研修」の概要

対象は、障害者支援施設、日中活動系・居住系障害福祉サービス事業所、障害児通所支援事業所、障害児入所施設の従事者です。

研修名	目的	開催月（予定）	
新任職員研修	新任職員としての心構えや基礎的な知識を身につける	5月	階層別研修
栄養士研修	新しい専門的知識・技能の習得を中心に、幅広い教養を身につけ、役割の意識を高める。	6月	専門研修
中堅職員研修	中堅職員としての役割を自覚し、幅広い知識と教養を身につけて、職場での業務遂行能力と利用者への処遇能力を高める。	8月	階層別研修
心理学研修	職場における心理的ニーズを理解することにより、援助技術の向上を図る。	9月	専門研修
看護師研修	新しい専門的知識を中心に習得し、看護職としての能力の向上を図る。	10月	専門研修
事務員研修	社会福祉施設事務担当職員としての基本的な知識・技能を習得し、施設事務の執行を円滑にする。	11月	専門研修
指導的職員研修	施設の中核的な存在としての自覚を高め、福祉サービスの効果的提供や効率的運営の意義と役割を理解する。	12月	階層別研修
施設調理員研修	新しい専門的知識・技能の習得を中心に、あわせて幅広い教養を身につける。	1月	専門研修
職場内研修担当職員研修	職場内研修の推進と定着を図るため、担当者の役割と研修計画の組み立て方等を学習する。	1月	専門研修
役員・施設長研修	時代に即した施設運営を図るため、幅広い視野と教養を身につけ、施設管理者としての能力の向上を図る。	2月	専門研修
広報紙・誌研修	広報の基本的な役割や意義の理解を深め、併せて広報紙の文章の書き方、編集の仕方などを学ぶ。	3月	専門研修

(4) 社会福祉法人北九州精神保健福祉事業協会 人財サポートセンター「歩ろん」

研修機関名	社会福祉法人北九州精神保健福祉事業協会 人財サポートセンター「歩ろん」
所在地	北九州市八幡東区中央二丁目1番1号 レインボープラザ6F
電話番号	093-616-0020
FAX番号	093-616-0024
<p>社会福祉法人北九州精神保健福祉事業協会は平成25年4月に福祉の人材を育成・サポートしていくことを目的として人財サポートセンター「歩ろん」を設立しました。「歩ろん」とはギリシャ語で「全体」を意味する「holos」に部分を意味する「on」をつけた言葉で、一人一人の能力（個性）を活かしながら全体が一つの方向を目指すという意味です。多くの福祉事業所は組織体で活動しています。そこでは一人一人の職員が同じ方向を向きながら利用者の支援を行っています。個人の能力を発揮しながら全体として目標を達成できるように、研修を通じて人財の育成をサポートします。</p> <p>※下記の研修は平成27年実施予定のものの抜粋ですが、募集時期が未定のもありますので、研修を希望される方は事前にお問い合わせ下さい。</p>	

■階層別研修

研修項目	ねらい	期待される効果
新任職員研修	社会人、組織人の意味を理解する 仕事の進め方の手順を学ぶ ホウレンソウの重要性を理解する コミュニケーションの取り方を学ぶ	仕事の基本を身につける 業務の効果的なすすめ方を学ぶ 報告・連絡・相談が的確にできる 伝える力と聞く力を身につける 新任職員の役割が意識化する
中堅職員研修	中堅職員の役割を理解する 業務改善の手順を学ぶ 後輩の指導方法をマスターする 対人関係能力の向上をはかる プレゼンテーション能力の向上	中堅職員の役割を再認識 問題解決に積極的に取り組む 後輩への確かな指導ができる 対人関係が改善される 説明力、説得力、発表力が向上
管理者研修	マネジメント（管理）の基本を学ぶ 管理者の役割を再認識する 状況に応じたリーダーシップが発揮できる コーチングスキルを習得する	管理者の役割を再認識 マネジメント（管理）能力が向上 リーダーシップ力が向上 活力ある職場風土が醸成される

■テーマ別研修

研修項目	ねらい	期待される効果
プレゼンテーション	プレゼンテーション能力の向上 話し方の基本を学ぶ	説得力が向上する 発表、報告、説明能力が向上する 図解を活用した資料作りができる
対人関係能力	対人関係能力の向上	傾聴能力が向上する 生産的な会話が可能になる 相互信頼関係が深まる 自己成長がはかられる

研修項目	ねらい	期待される効果
コミュニケーション能力	コミュニケーション能力の向上	自分と相手の違いが理解できる 伝達と傾聴能力が向上する 言葉のキャッチボールができるようになる 相互信頼関係が深まる 課題別研修
リーダーシップ	リーダーシップ能力の向上	自分のリーダーシップスタイルが理解できる 状況に応じたリーダーシップが発揮できる 部下に合わせたリーダーシップがとれる 部下への動機づけが可能になる 課題別研修
リスク・マネジメント	リスク・マネジメントの概念を理解する	適切なリスク・マネジメントができる 職員の問題意識が向上する 危機感の共有化がはかれる 課題別研修
メンタルヘルス ストレス・マネジメント	ストレスの仕組みを理解する ストレスの対処方法を学ぶ メンタル不調者への対応方法を学ぶ 職場復帰時の対応方法を学ぶ	ストレスの正しい理解が深まる ストレスをコントロール できるようになる 部下のストレスマネジメント力が向上する 課題別研修
OJT研修	人財育成の方法を理解する OJTの意義を再認識する OJTの具体的なすすめ方を学ぶ 計画的育成方法を習得する	部下・後輩の指導力が向上する 部下・後輩の仕事力が向上する 共育（相互啓発）の風土がひろがる コミュニケーションスキルが向上する 課題別研修
問題解決と業務改善	問題と業務改善の違いを理解する 問題・業務改善の意義を理解する 問題解決のプロセスを学ぶ 問題解決の技法を学ぶ	問題感知力が高まる 業務改善意識・意欲が向上する 問題解決能力が向上する 利用者のサービス向上につながる 課題別研修
コーチング研修	コーチングの意義を認識する コーチングのスキルを学ぶ 職場への展開方法を学ぶ タイプ別に合わせたコーチング力を身につける	部下の潜在能力を引き出せる 部下との信頼関係が深まる 部下の自発性を引き出す 個人面談の効果をあげられる 課題別研修
小集団活動 (QC活動)	小集団活動のすすめ方を学ぶ	QC活動の目的が共有できる QCストーリーが理解できる QC技法を習得できる 問題解決のノウハウを習得できる 職場の活性化につながる 課題別研修

■北九州塾

北九州市内の障害福祉サービス等事業所の将来を担う中核職員「リーダー」を養成することが目的です。（なお、平成27年度の申し込み受付は終了しております。）

リーダー養成「第三期北九州塾」共育カリキュラム

回	期日	テーマ	研修概要
第1回	4月18日	開校式 プレゼンテーション	北九州塾の趣旨とキーワード、自己紹介 プレゼンテーションの基本を学ぶ、基調講演
第2回	5月16日	マネジメント (事例研究)	経営、管理の意味を考える マネジメントの理解と管理の五機能を学ぶ
第3回	6月20日	ロジカルシンキングと 業務改善	ロジカルシンキング（論理的思考）の基本を学ぶ 業務改善に必要な技法を学ぶ
第4回	7月18日	人財育成とOJT	人財育成の基本と三本柱を学ぶ 職場に即したOJTの展開方法を考える

回	期日	テーマ	研修概要
第5回	8月15日	コーチング	コーチングの基本スキルを学ぶ 職場での活用方法を考える
第6回	9月19日	対人関係能力	今ここにいる自分を正しく知る 好ましいコミュニケーションの取り方を学ぶ
第7回	10月17日	メンタルヘルスと ストレス・マネジメント	メンタルヘルスの方法を学ぶ 職場での対応方法を考える
第8回	11月21日	講師スキルと職場内研修	講師スキルと職場研修のすすめ方を学ぶ レッスンプランの作り方を習得する(モデル実演)
第9回	12月19日	30分講師実演(1)	一人30分の講義実演を経験する フィードバックを使用して振り返りを行う
第10回	1月16日	30分講師実演(2)	一人30分の講義実演を経験する フィードバックを使用して振り返りを行う
第11回	2月20日	チームビルディングと リーダーシップ	チームビルディング(強いチーム創り)の基本を学ぶ 状況に応じたリーダーシップの取り方を学ぶ
第12回	3月19日	ブレイクループレッ 修了式	一年後の目標と具体的な行動プランを作成 一年間のふりかえりと修了証の授与

(5) 北九州市立精神保健福祉センター

研修機関名	北九州市立精神保健福祉センター
所在地	北九州市小倉北区馬借一丁目7番1号 総合保健福祉センター（アシスト21）
電話番号	093-522-8729
FAX番号	093-522-8776

北九州市立精神保健福祉センターは、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」に規定される精神保健福祉の分野における専門機関です。平成9年4月1日に設置されました。

精神保健福祉センターは、「市民の皆さんのこころの健康の保持推進と、精神障害者の方の自立支援」に関する支援や啓発などの活動を行っています。

精神保健福祉センターは、市レベルの精神保健福祉の中核として保健福祉局障害福祉課、保健所、各区役所とともに、下記のと通りの業務を行っています。

- ① 専門的・技術的支援（市民のみなさんのご相談に応じるために区に出かけたり、子ども総合センターや少年支援室などに出向くこと）
- ② 普及啓発
- ③ 教育研修の実施
- ④ 情報収集・提供
- ⑤ 調査研究

精神保健福祉センターでは精神保健福祉に関する支援に従事している方等を対象に、精神保健福祉に関する専門的な知識・技術取得のための研修や自殺対策、障害者の就労支援などの専門研修等行っております。

研修の実施状況は、下記ホームページで確認できます。

「北九州市いのちとこころの情報サイト」
<http://www.ktq-kokoro.jp/>

「北九州市公式ホームページ内 精神保健福祉センター」
<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/ho-assist-seishin.html>

QRコード

この章で紹介した研修機関は一例ですので、目的にあった研修を探してみてください。